



© 24 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L646652

NIE
教育に
新聞を

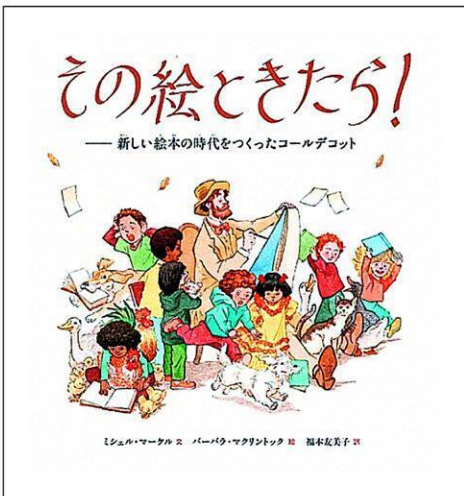
4

小学1・2年生向け

その絵ときたら！

ミシェル・マーケル文 バーバラ・マクリントック絵
福本友美子訳

ランドルフ・コールデコットは、子どもの頃から絵を描くのが大好きでした。外で遊んだときには、家に帰るとすぐに、外で見た動物たちを描きます。学校の教科書にも絵を描かずにはいられません。大人になったランドルフは、やがて本の挿絵で注目を集めるようになりました。ランドルフが描くと、「役者が剣をつきだし、紳士がさっそうと歩き、御者がむちをふるう」かのように、生き生きと元氣いっぱいに見えるのです。そしてある日、「絵本をつくってみませんか？」と仕事を任されます。アメリカで、最も優れた絵本の画家に贈られるコールデコット賞。その由来となったランドルフ・コールデコットの伝記絵本です。



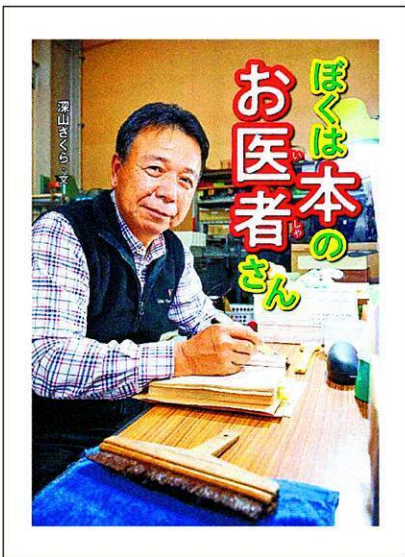
(ほるぷ出版 2640円)

小学3・4年生向け

ぼくは本のお医者さん

深山さくら文

印刷した紙を本の形にする製本会社社長の齋藤英世さんは、若い頃、本の作り方をよく知っている自分なら直すこともできるはずだと考え、「こわれた絵本を無料で修理します」と呼びかけました。すると多くの本が集まり、はりきって修理を始めましたが、直し方のわからない本がたくさんあって、すっかり自信をなくし、本の修理をやめてしまいました。それから21年後、本を修理する職人が主人公の「ルリユールおじさん」という絵本を読んで、「もう一度、本の修理をしてみたい」という気持ちが湧き上がります。本のお医者さん「ブックスドクター」として5000冊以上の本を修理してきた齋藤さんのこれまでの歩みや、本の修理に対する思いを伝えます。



(校成出版社 1540円)



本を作ったり、直したり…

読書の秋に、「本」にまつわる本を読んでみませんか？ 本の修理をする職人や、新しい絵本の時代をつくった画家の伝記など、本に関連するエピソードが取り上げられている絵本・物語を紹介します。

(山梨県立図書館 後藤麻友)

—毎月第2週に掲載します—

小学5・6年生向け

はじまりは一冊の本！

濱野京子作 もりかわいずみ絵
森川泉

これといって夢中になれるものがない小学6年生の終斗は、サッカー好きの父親とは話が合わず、友だちづくりも苦手です。ある日学校の図書館で、卒業した3人の先輩が物語や挿絵から印刷・製本までを手作りした「世界で一冊だけの本」と出会い、「どんなふうにして、本を作ったのだろう？」と興味を持ちました。本のことをもっと知りたくなって、図書館で本の歴史や印刷について調べていると、学校司書の先生から印刷博物館に行くことを勧められます。「本ができたのって、だれかに伝えたいことがあったからだと思うんだ」。一冊の本との出会いをきっかけに、夢中になれることを見つけ、父親や友だちとの関わり方を学んでいく、終斗の成長物語です。



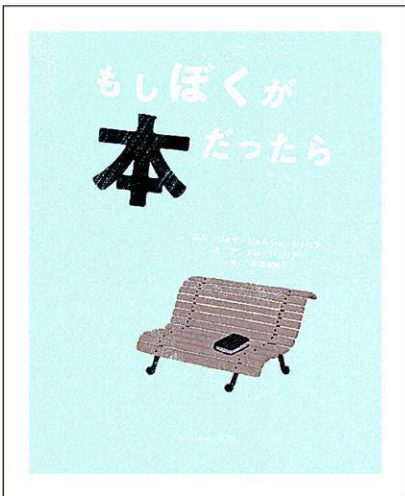
(あかね書房 1430円)

中学生向け

もしぼくが本だったら

ジョゼ・ジョルジェ・レトリア文 アンドレ・レトリア絵
宇野和美訳

みなさんは、本の気持ちを考えてみたことがありますか？ どんな人に読んでほしいか、どんなふうにあつかってほしいか、どんな本でありたいか。もし自分が本だったら……と想像してみましょう。「もしぼくが本だったら つれて帰ってくれるよう 出会った人にたのむだろう。」「ずっとしまってきた昔の秘密を ぼくの読者とわかちあおう。」「かっこよく見せようとして 読んだふりをしてほしくない。」……。本をテーマにしたこの絵本には、「もしぼくが本だったら」と想像した28のエピソードが、詩的な味わいのある文章でつづられています。本そのものが持つさまざまな魅力を、じんわりと感ずることのできる一冊です。



(アノニマ・スタジオ 1980円)